【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和2年2月6日(2020.2.6)

【公表番号】特表2019-500989(P2019-500989A)
【公表日】平成31年1月17日(2019.1.17)
【年通号数】公開・登録公報2019-002
【出願番号】特願2018-553040(P2018-553040)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｆ　9/007　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｆ　9/007　１３０Ｈ

【手続補正書】
【提出日】令和1年12月19日(2019.12.19)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
軸部と、
前記軸部の第1の半径側から半径方向に延在する第１のプラットフォームと、
前記第１の半径側と反対の前記軸部の第２の半径側から半径方向に延在する第２のプラットフォームとを備え、
前記第１のプラットフォームと前記第２プラットフォームとの各々は、傾斜路と、第１のブレードと第２のブレードとを備え、
前記傾斜路は、前記遠位側の第１の厚さから、前記傾斜路の近位側の前記第１の厚さよりもより厚い、第２の厚さに増加し、
前記第１のブレードと前記第２のブレードとは、（ｉ）隙間によって分離され、（ｉｉ）前記傾斜路の前記近位側から前記軸部に延在し、
前記軸部、前記第１のプラットフォーム、及び前記第２のプラットフォームは、前記第１のプラットフォームと前記第２のプラットフォームのそれぞれに対向する、単一の平坦で連続する底部面を画定する、眼科ナイフ。
【請求項２】
各傾斜路は、シュレム管の外壁部から離れて、小柱状の網目構造の一部を持ち上げるようにＶ字形状である、請求項１に記載の眼科ナイフ。
【請求項３】
前記第１のプラッとフォームと前記第２のプラットフォームの各々とは、上部側面と下部側面とを備え、前記第１の厚さと前記第２の厚さとは、対応する１つの前記第１のプラットフォームと前記第２のプラットフォームの前記頂部側面と前記下部側面間で、それぞれ画定される、請求項１に記載の眼科ナイフ。
【請求項４】
前記第１のプラットフォームの前記底部側面は、前記第２のプラットフォームの前記底部側面と同一平面上にある、請求項３に記載の眼科ナイフ。
【請求項５】
第１のプラットフォームと第２のプラットフォームとの各々は、前記近位側から前記遠位側に延在する第１の側面と、前記近位側から前記遠位側に延在する第２の側面とを、さらに備える、請求項１に記載の眼科ナイフ。

【請求項６】
前記第１の側面の近位区域と、前記第２の側面は互いに平行であり、前記第１の側面の遠位区域と前記第２の側面は、前記遠位側の先端で交差する、請求項５に記載の眼科ナイフ。
【請求項７】
前記第１のプラットフォームと前記第２のプラットフォームとの各々は、前記軸部に対して固定した角度で位置づけられる、請求項１に記載の眼科ナイフ。
【請求項８】
前記第１のプラットフォームと前記第２のプラットフォームとの各々は、前記底部表面の一部を画定する前記軸部の終端部に整列される、請求項１に記載の眼科ナイフ。
【請求項９】
軸部と、
前記軸部の第1の半径側から半径方向に延在する第１のプラットフォームと、
前記第１の半径側と反対の前記軸部の第２の半径側から半径方向に延在する第２のプラットフォームとを備え、
前記第１のプラットフォームと前記第２プラットフォームとの各々は、傾斜路と、第１のブレードと第２のブレードとを備え、
前記傾斜路は、近位側面、先端を形成する遠位側面、上部側面、及び下部側面を有し、前記傾斜路は、前記傾斜路の前記遠位側の前記上部側面と前記底部側面間で画定される第１の厚さから、前記傾斜路の近位側の前記第１の厚さよりもより厚い、前記上部側面と前記下部側面間で画定される第２の厚さに増加し、
前記第１のブレードと前記第２のブレードとは、（ｉ）隙間によって分離され、（ｉｉ）前記傾斜路の前記頭部側から前記軸部に延在し、
前記軸部の端部、前記第１のプラットフォームの前記底部、及び前記第２のプラットフォームの前記底部は、単一の平面状の底部面を画定する、眼科ナイフ。
【請求項１０】
前記第１のプラットフォームと前記第２のプラットフォームとは各々、前記軸部に対して固定した角度で位置づけられる、請求項１１に記載の眼科ナイフ。
【請求項１１】
前記第１のプラットフォームと前記第２のプラットフォームとの各々は、前記底部面の一部を画定する前記軸部の終端部に整列される、請求項１１に記載の眼科ナイフ。